

# FY2026 1Q FINANCIAL RESULTS

2026年12月期第1四半期 決算説明資料

株式会社robot home（証券コード: 1435）

robot**home**

In technology, we are changing homes  
and changing the world.

©robot home Inc. all rights reserved.

## アジェンダ

1. 2026年12月期第1四半期 決算概要
2. robot homeグループの成長戦略
3. 補足資料

# 1. Financial Results

2026年12月期第1四半期 決算概要

## 会社概要

社名 株式会社robot home

本社 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 9階

設立 2006年1月23日

代表者 代表取締役CEO 古木 大咲

資本金 74億70百万円（資本剰余金を含む）

従業員 249名（連結ベース / 正社員 / 2026年3月末時点）

事業内容

AI・IoT事業

robot home事業

グループ会社

株式会社 rh labo

株式会社 rh investment

株式会社 rh maintenance

株式会社 rh warranty

株式会社 アイ・ディー・シー

株式会社 Next Relation

## 決算ハイライト

- 連結売上高 3,401百万円、前年増減率 108.2%増
- 連結営業利益 60百万円、前年増減率 986.9%増

## 報告セグメント

### AI・IoT事業

AI・IoT開発販売、及び導入支援サービス  
DX総合支援サービス

### robot home事業

土地から選べるアパート経営  
「robot home」の運営

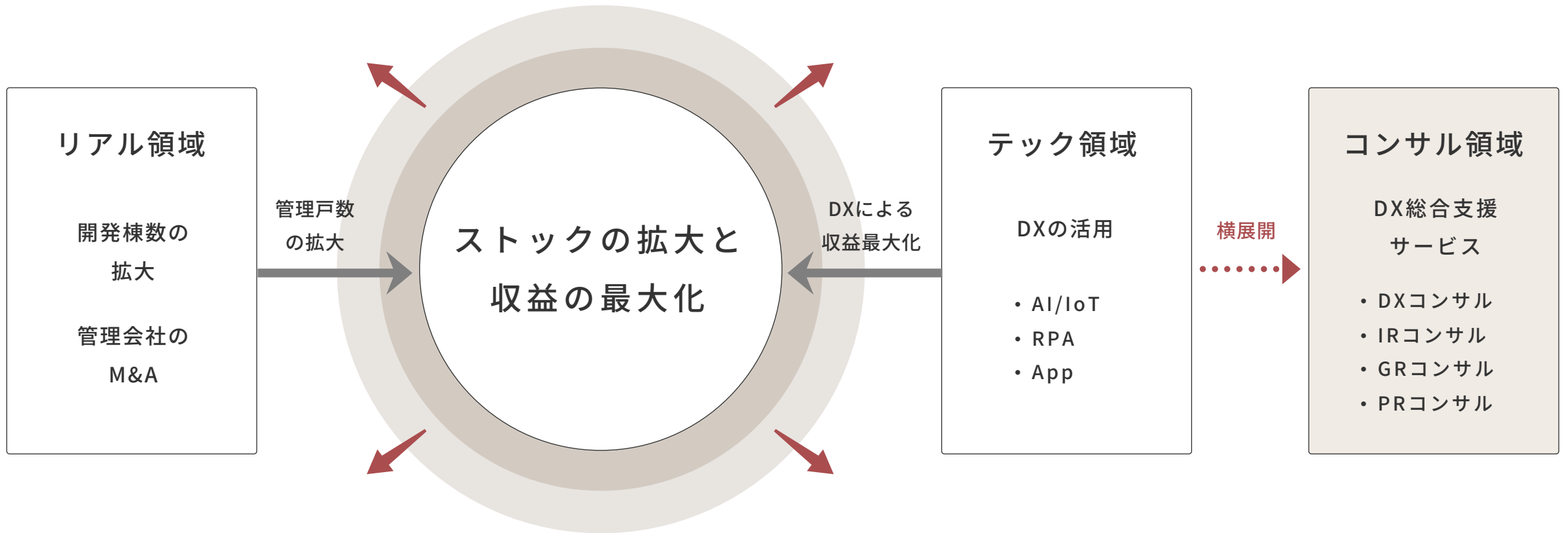
## リアル×テクノロジーの知見をDX領域へと展開

robot home事業

不動産テック

AI・IoT事業

DX開発・外部支援

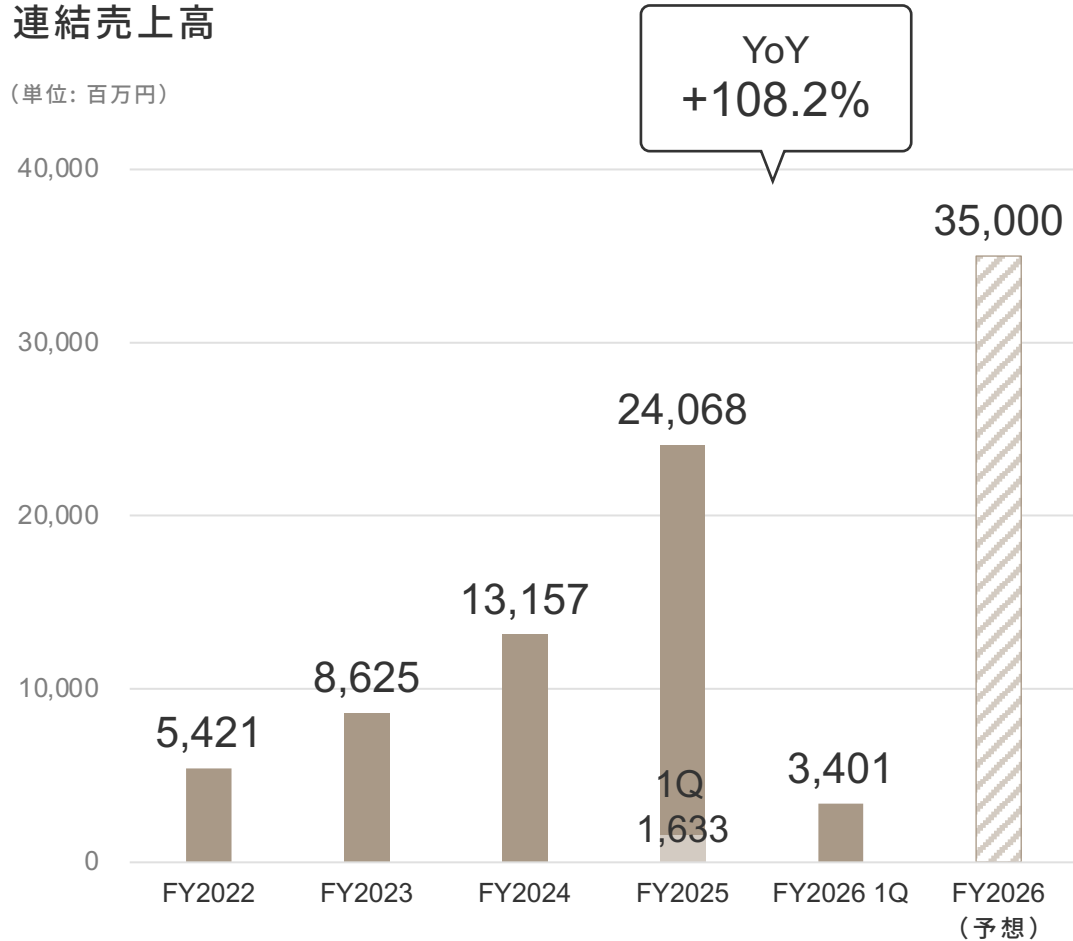


## robot homeグループの業績推移

robot homeグループのFY2026 1Q連結売上高は3,401百万円（前年同期比+108.2%）。連結営業利益は60百万円（前年同期比+986.9%）。

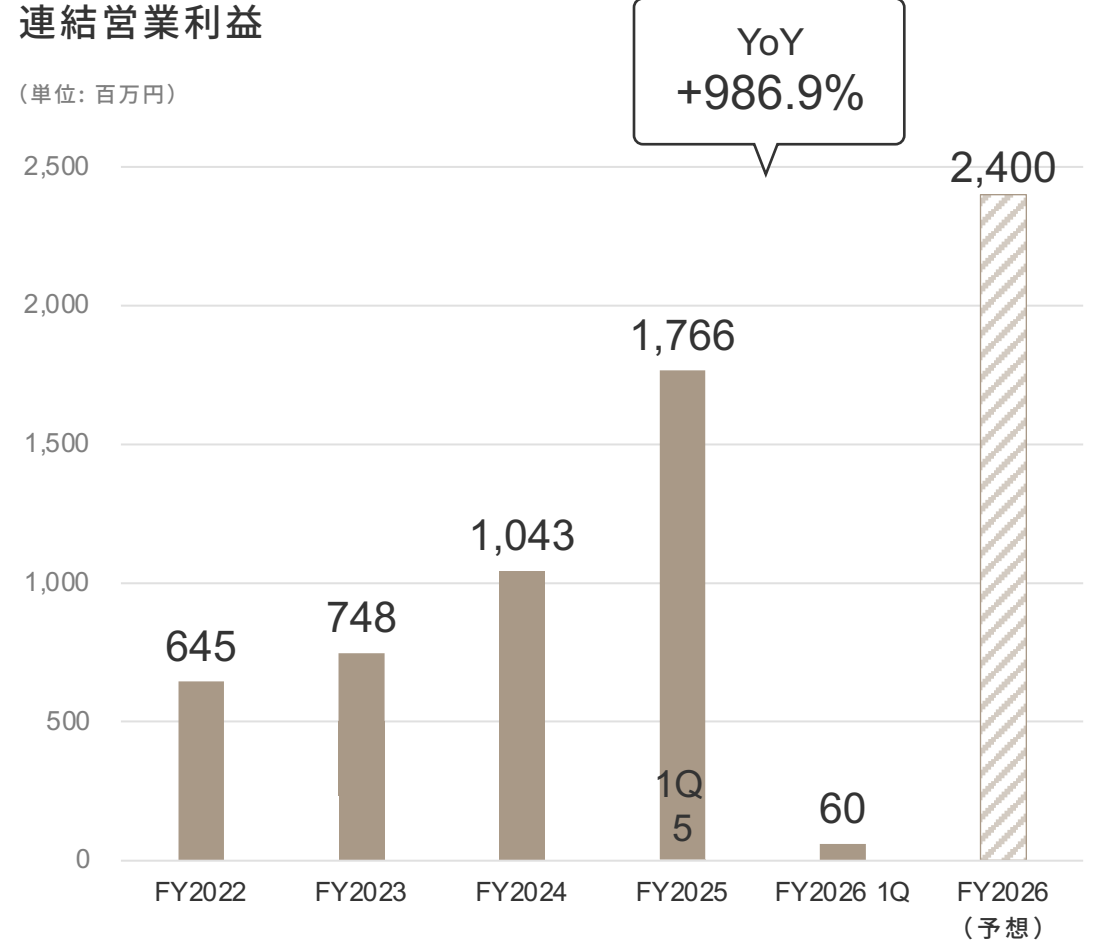
### 連結売上高

(単位: 百万円)



### 連結営業利益

(単位: 百万円)



## 連結損益計算書

robot homeグループのFY2026 1Q連結売上高は3,401百万円（前年同期比+108.2%）。連結営業利益は60百万円（前年同期比+986.9%）。

（単位：百万円）

	FY2025 1Q	FY2026 1Q	増減率
売上高	1,633	<sup>a</sup> 3,401	108.2%
AI・IoT事業	81	188	132.6%
robot home事業	1,558	3,223	106.8%
売上総利益	907	1,157	27.7%
AI・IoT事業	63	126	97.5%
robot home事業	847	1,042	23.0%
販管費及び一般管理費	901	1,097	21.8%
営業利益	5	<sup>b</sup> 60	986.9%
AI・IoT事業	11	78	587.1%
robot home事業	431	539	25.1%
経常利益	171	51	▲69.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	167	37	▲77.7%

### <sup>a</sup> 売上高

フロー領域において建物10棟、土地先行引渡を行うと共に、ストック領域の管理戸数の積み上がりと戸当たりの売上高増加による両軸の成長により、前年対比+108.2%にて着地。

### <sup>b</sup> 営業利益

前年対比+986.9%と大幅な増益にて着地。  
建物引渡、土地引渡の順調に推移していることに加え、ストック領域の戸あたり利益の向上により利益額の積み上げを行いつつ、戦略的なAI・DX・人材投資を継続。

## 連結貸借対照表

開発棟数の伸長に合わせて現金及び預金並びに有利子負債の活用を行いつつ、財務状態は健全な状態を継続。実質無借金経営、自己資本比率69.7%

(単位: 百万円)	FY2025	FY2026	増減額
流動資産	11,519	11,046	▲473
現金及び預金	7,505	3,648	▲3,856
棚卸資産	1,667	3,647	1,980
固定資産	4,405	4,601	196
資産合計	15,925	15,647	▲277
負債	4,758	4,736	▲21
有利子負債	1,322	1,753	431
純資産	11,167	10,910	▲256
負債・純資産合計	15,925	15,647	▲277

## 2028年度中期経営計画

2026年2月12日に中期経営計画を策定。事業基盤の強化とAI時代の不動産経営における市場価値を創出。

2028年  
12月期

### 筋肉質な財務・組織基盤の強化と積極的なM&Aの推進

AI・IoT事業  
成長基盤の強化



AI、テクノロジー分野への  
研究開発投資



成長基盤となる  
アプリケーション機能の向上

robot home事業  
プラットフォーム拡大



土地から選べるアパート経営  
robot homeの体験価値向上



高水準の  
キャッシュ創出力を追求

### 2028年度目標

連結売上高 **60,000**百万円 CAGR +35.5%

連結営業利益 **4,100**百万円 CAGR +32.4%

開発棟数 **310**棟 +194棟

管理戸数 **35,300**戸 +6,989戸

※CAGRは2025年12月期から2028年12月期の年平均成長率

2025年  
12月期

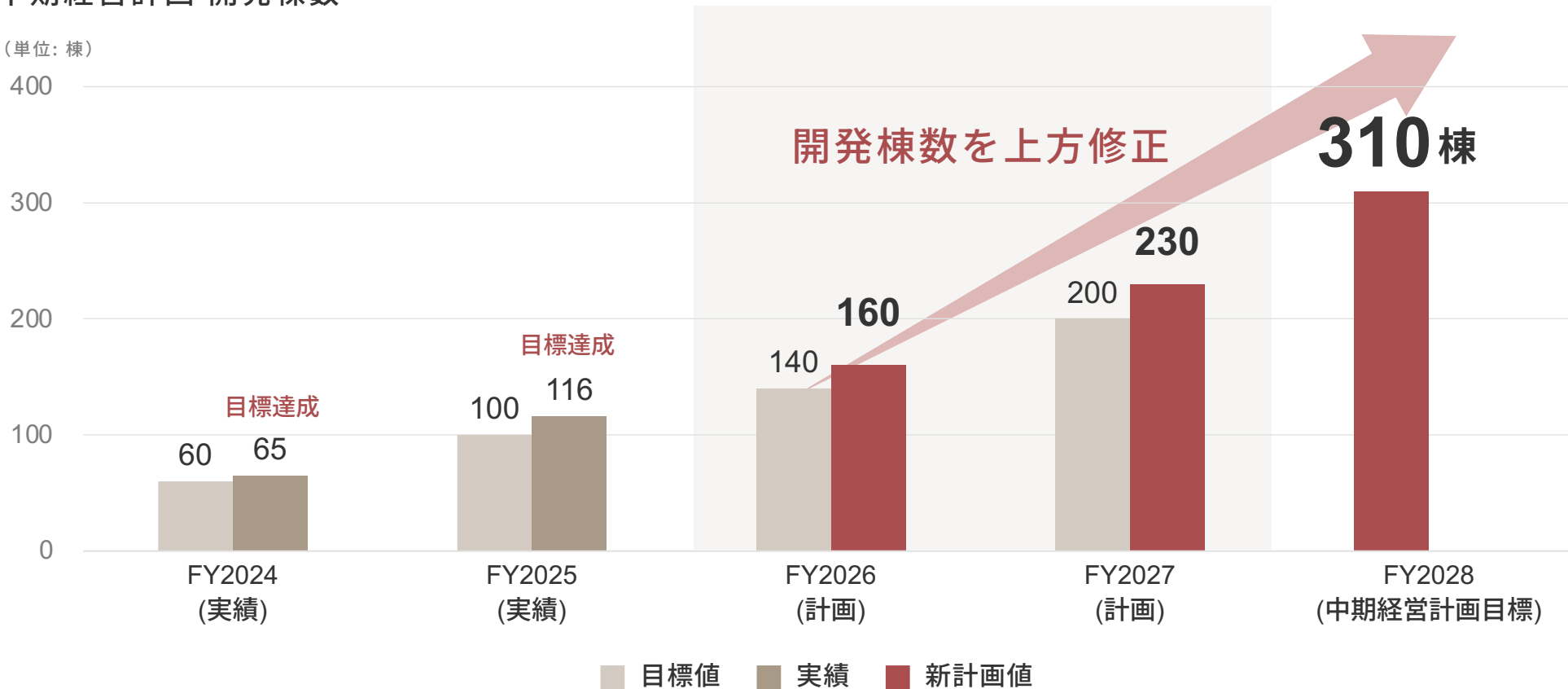
参考：「中期経営計画2028の策定に関するお知らせ」2026年2月12日開示

## 中期経営方針の実績と上方修正

2024年2月14日に開示した中期経営方針は順調に進捗。2026年度以降は開発棟数目標を上方修正するとともに、2028年度は310棟を開発目標に設定。

### 中期経営計画 開発棟数

(単位: 棟)



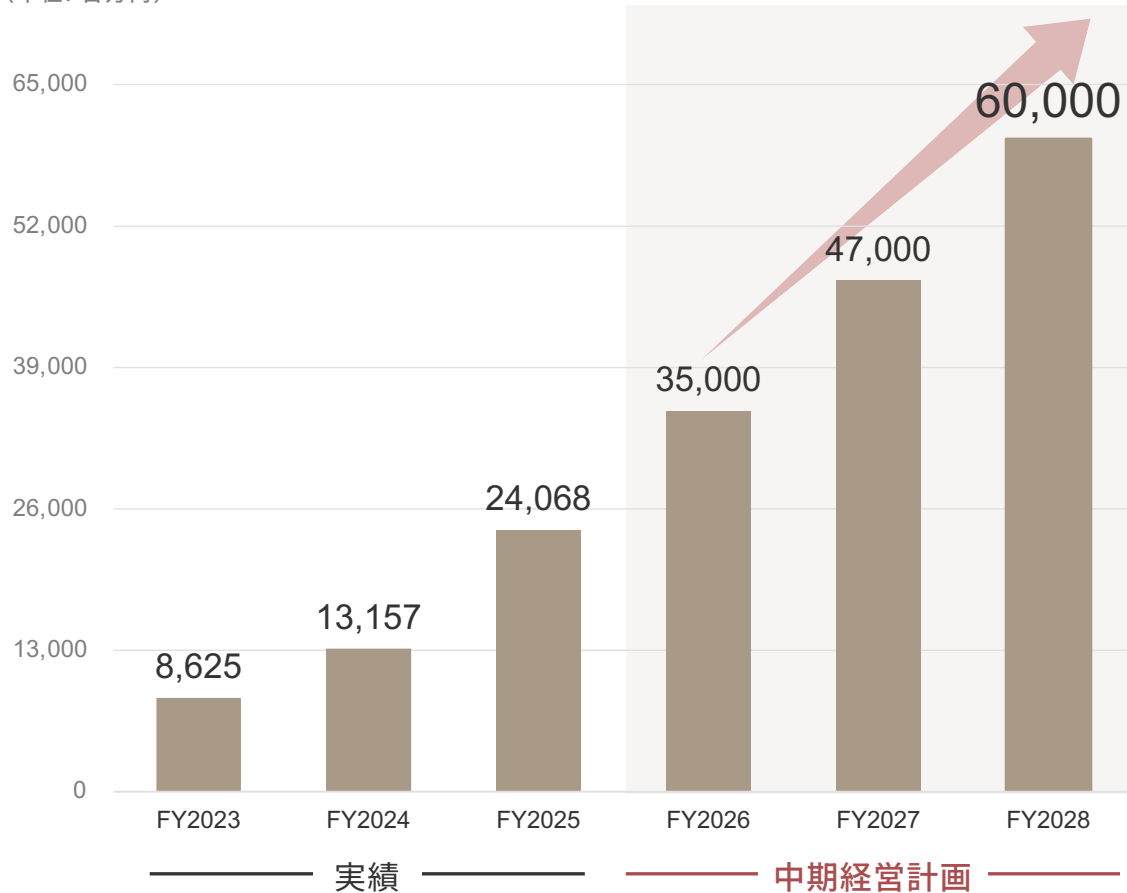
参考: 「中期経営方針の策定に関するお知らせ」2024年2月14日開示

## 2028年度 中期経営計画

プラットフォームの拡大とともにさらなる成長を目指す。

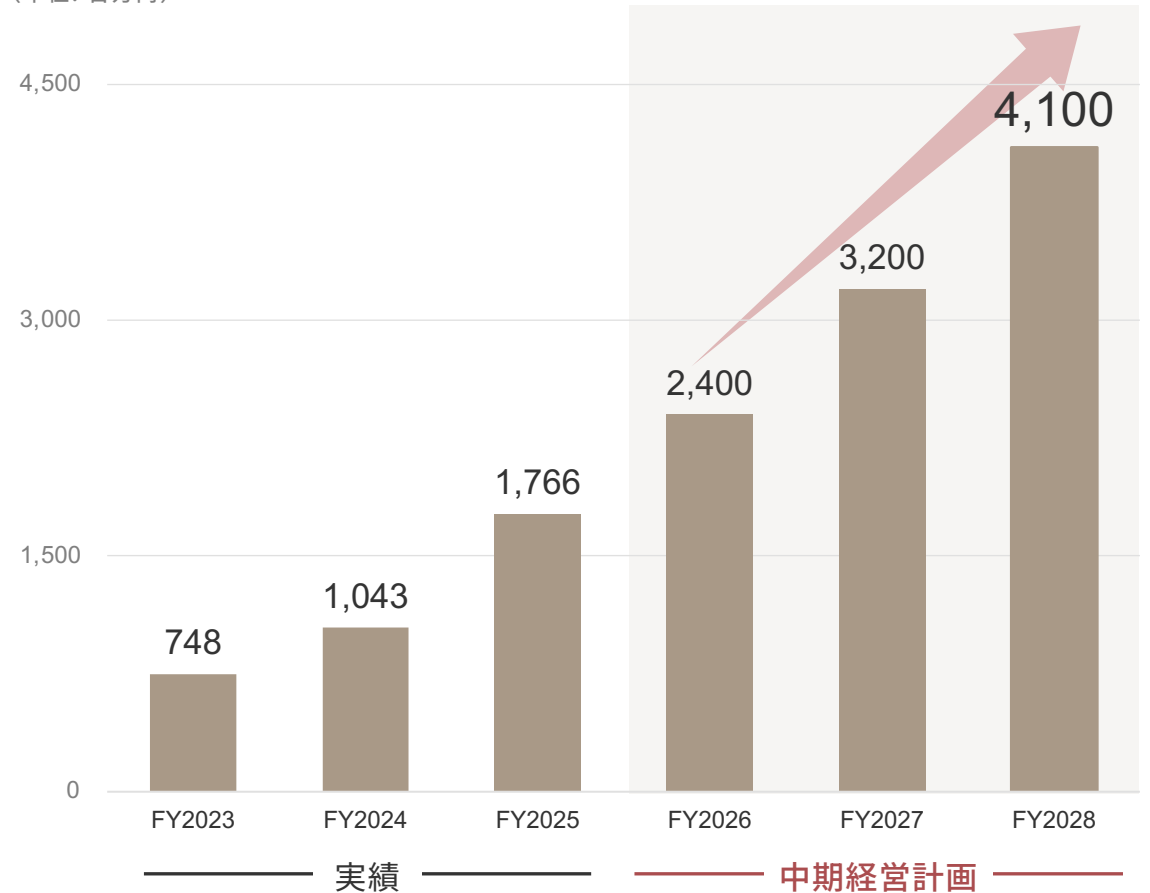
### 連結売上高

(単位: 百万円)



### 連結営業利益

(単位: 百万円)



## FY2026業績予想について

(単位: 百万円)

	FY2025 (実績)	FY2026			
		予想		実績	
		通期	前年増減率	1Q	進捗率
売上高	24,068	35,000	45.4%	3,401	9.7%
営業利益	1,766	2,400	35.9%	60	2.5%
経常利益	1,787	2,200	23.1%	51	2.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,989	2,000	0.5%	37	1.9%

## 2. Growth Strategy

robot homeグループの成長戦略



# AI / IoT Business

AI・IoT事業

## AI・IoT事業のビジネス概要

賃貸住宅をスマートホーム化するIoTの開発・運用および、コンサルティングサービスを提供。



### IoTスマートホームサービス

賃貸住宅をスマートホーム化するAI・IoTを開発。専用アプリはIoTの遠隔操作に留まらず、賃貸管理会社とのコミュニケーションツールを搭載するなど、不動産の開発会社だからこそ実現可能な機能を提供。AIのビジネス活用を目的とした研究開発も担う。

IoT導入戸数 **13,413戸**



### DX総合支援サービス

AI・IoT×不動産の様々な自社プロダクトを開発・運用してきた実績とノウハウを活かし、企業コンサルティングを通じたDX総合支援サービスを提供。企業価値向上に向けて様々な角度でソリューションを提供。累計総合支援社数は60社を超え、着実に拡大中。

DX総合支援社数 **61社**

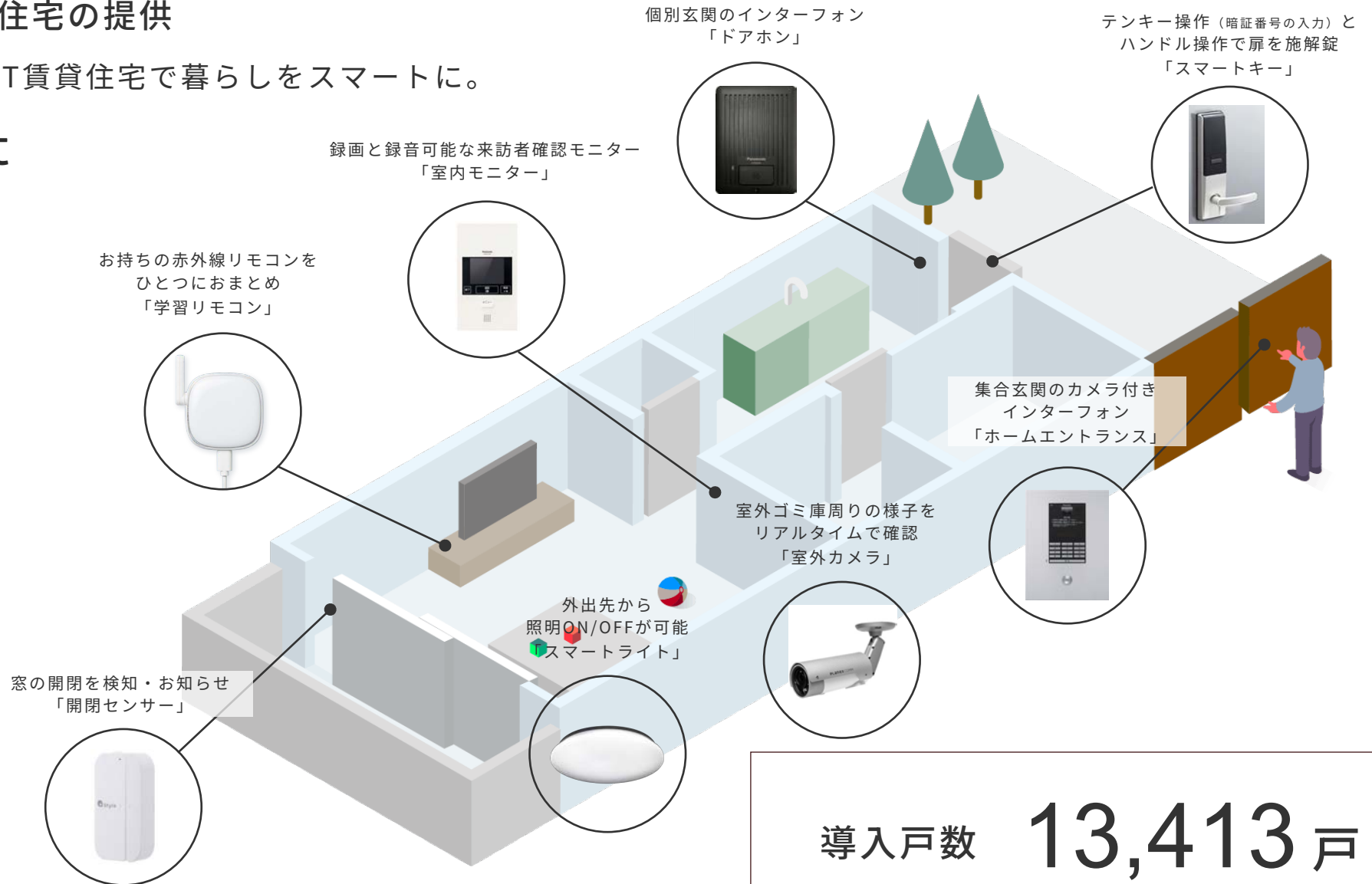
## 次世代のDX化された賃貸住宅の提供

スマホひとつで操作できるIoT賃貸住宅で暮らしをスマートに。

# robot home kit



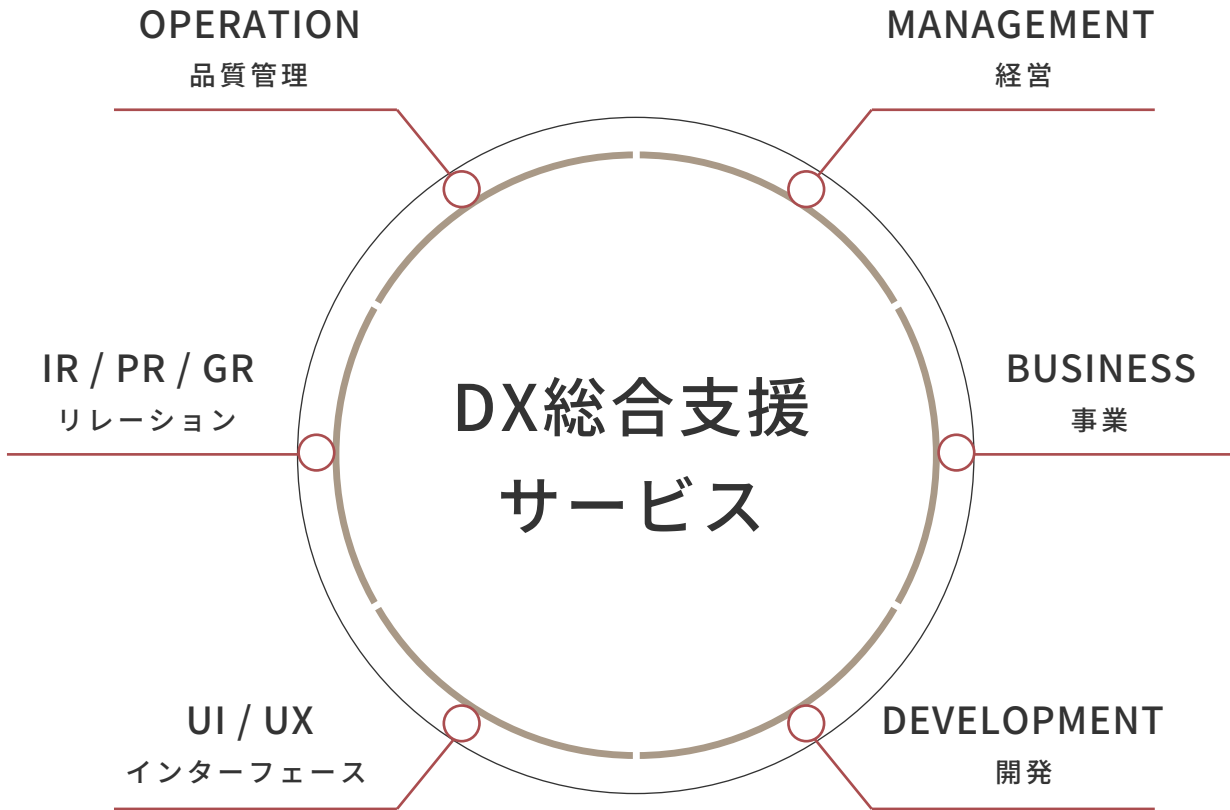
※間取りはサンプルです。



導入戸数 **13,413** 戸  
(2026年3月末時点)

## DX総合支援サービス

AI・IoT×不動産の様々な自社プロダクトを開発・運用してきた実績を活かしDX総合支援サービスを提供。



### 不動産のみならず 幅広い業界にサービスを提供

- マンション
- 戸建住宅
- ビルメンテナンス
- プロモーション
- エネルギーサービス
- BPOサービス
- クラウドファンディング
- マーケティング
- 不動産テック
- イベント企画

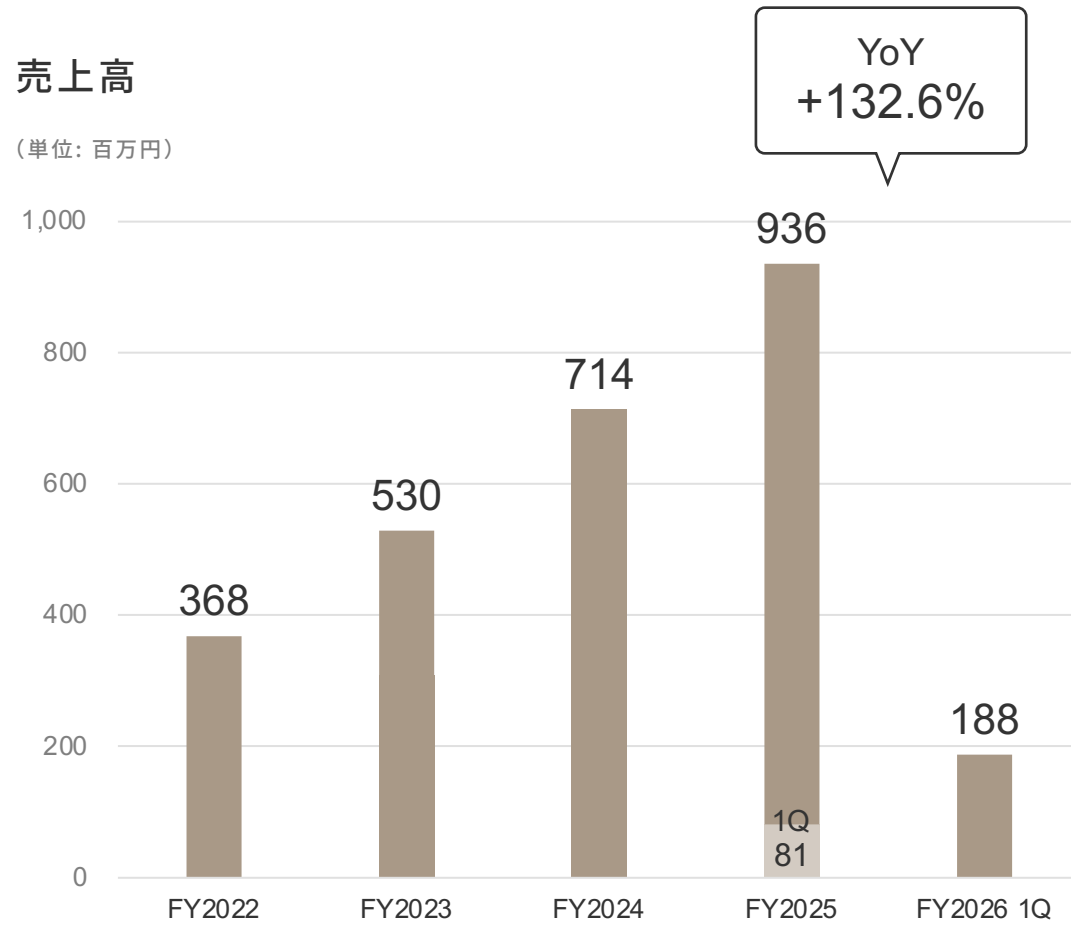
DX総合支援社数 **61**社  
(2026年3月末時点)

## AI・IoT事業の業績推移

AI・IoTセグメントのFY2026 1Q売上高は188百万円（前年同期比+132.6%）。営業利益は78百万円（前年同期比+587.1%）。

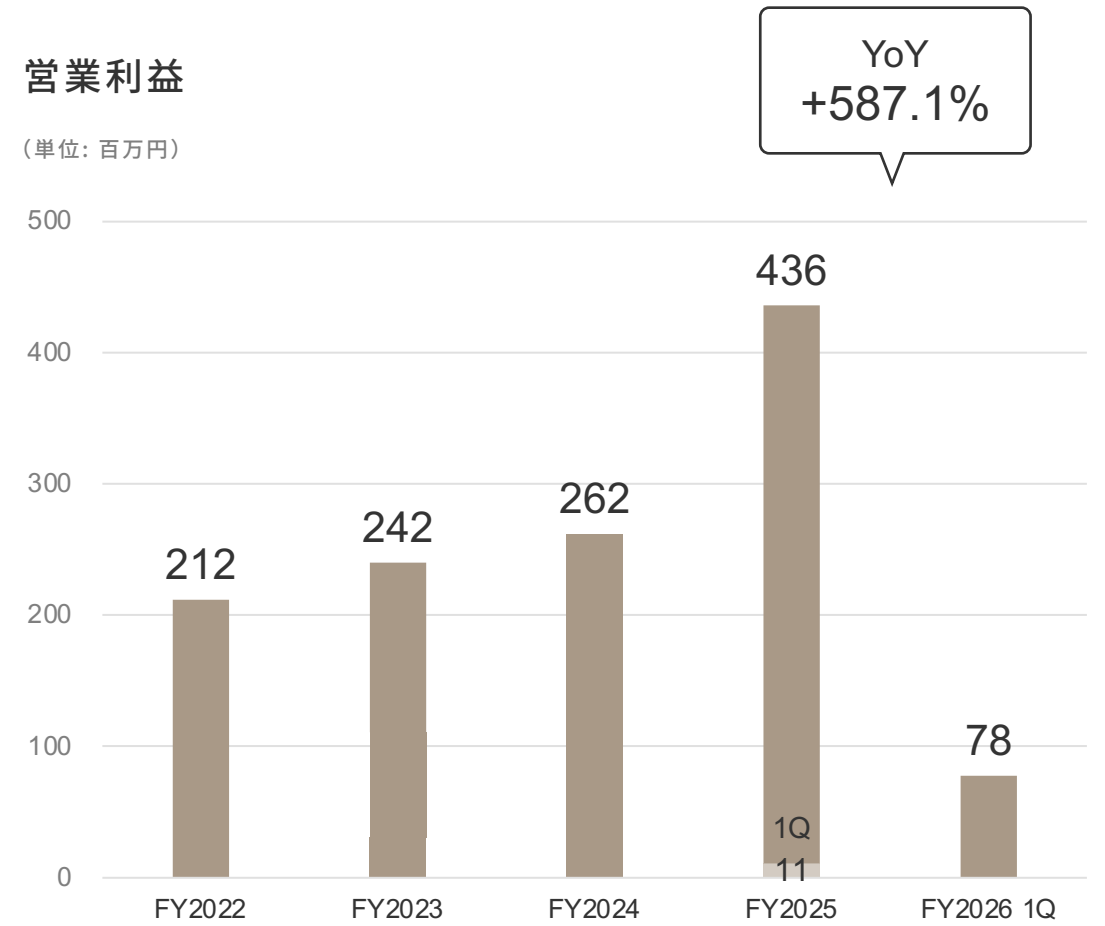
### 売上高

(単位: 百万円)



### 営業利益

(単位: 百万円)



## AI・IoT事業の業績

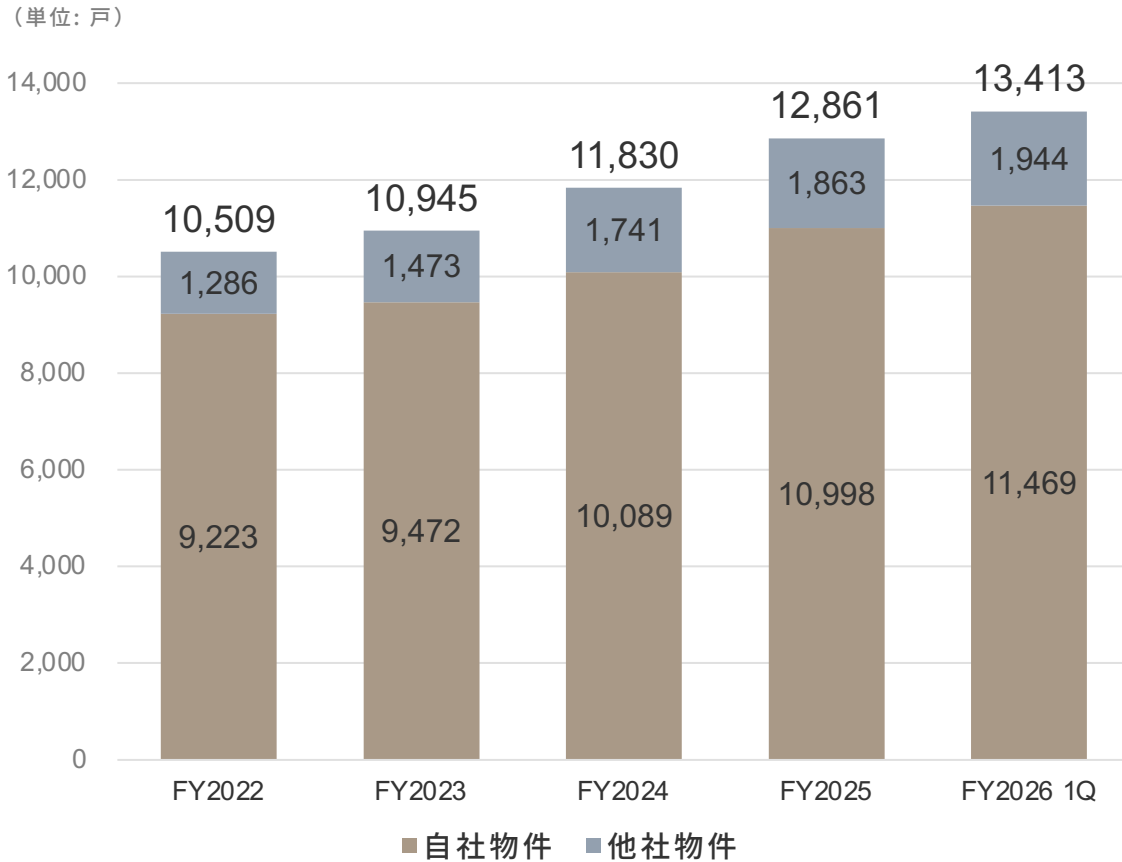
AI・IoTセグメントのFY2026 1Q売上高は188百万円（前年同期比+132.6%）。営業利益は78百万円（前年同期比+587.1%）。営業利益率は41.4%であり、グループ全体の収益性向上に寄与。

（単位：百万円）

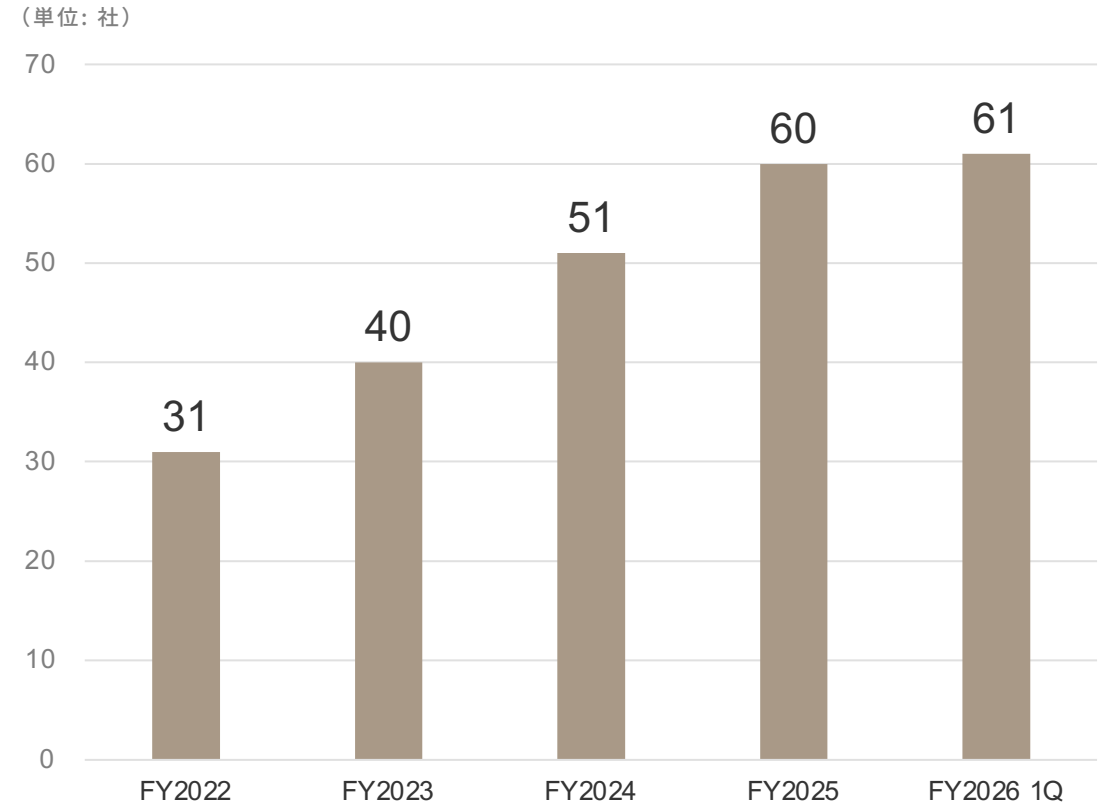
	FY2025 1Q	FY2026 1Q	増減率
売上高	81	188	132.6%
売上総利益	63	126	97.5%
販管費及び一般管理費	52	48	▲8.4%
営業利益	11	78	587.1%

## AI・IoT事業のKPI

### IoT導入戸数の推移



### DX総合支援社数 (累計)



# robot home Business

robot home 事業

## 土地から選べるアパート経営「robot home」

オーナー様のスムーズな不動産経営を支援。管理会社やアセットの種類を問わず、保有不動産の一元管理も可能。

# robot home

### 土地選び、管理、売却までワンストップで完結

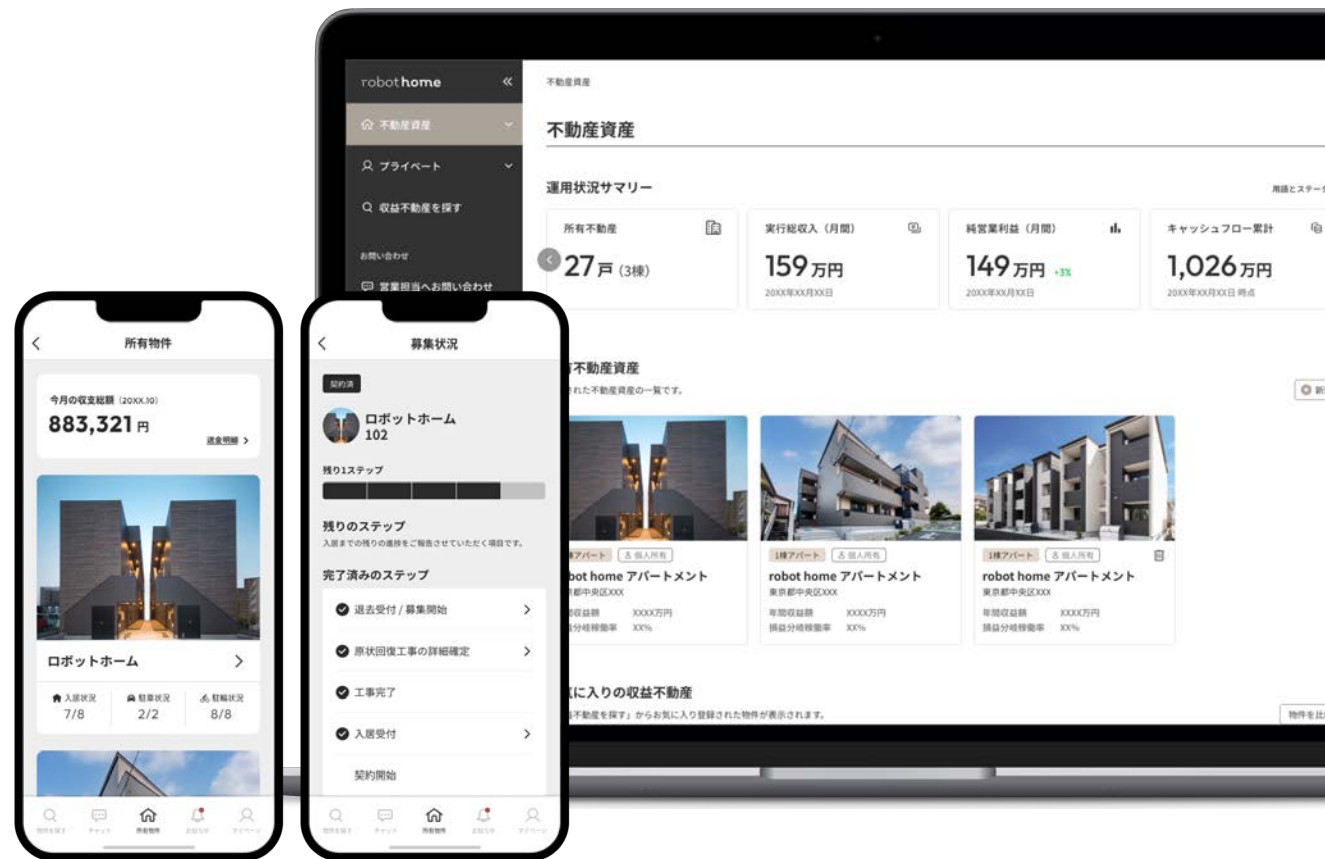
土地やデザインの選定からシミュレーション、購入後の建築確認、賃貸管理、売却まで一気通貫にサポート

### アプリとWEBでスマートな不動産経営

書類のクラウド管理や募集状況の確認、チャット機能など、不動産経営に必要な機能がアプリ・WEBに集約

### AIを活用した個別最適化された投資戦略の提案

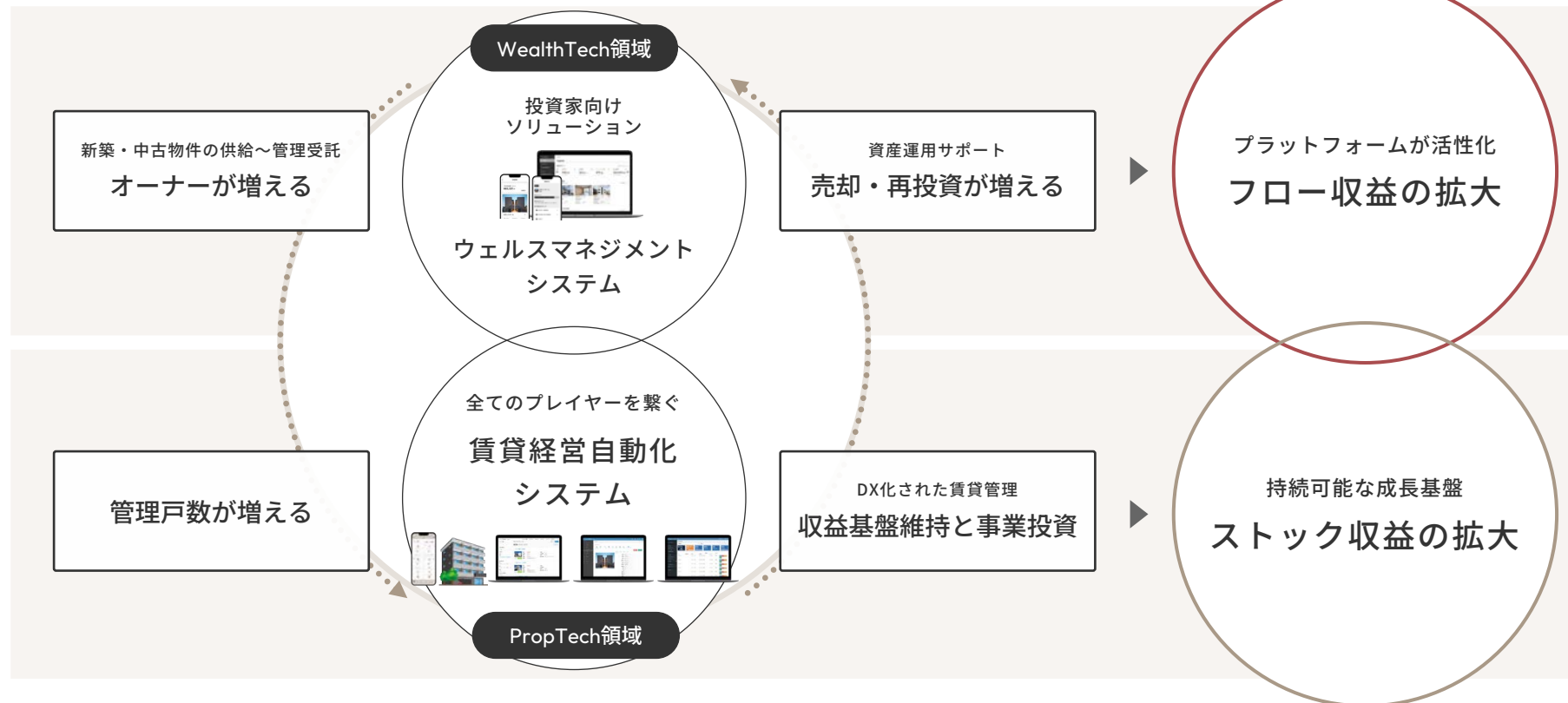
当社が持つ膨大なデータとAIを組み合わせることで、不動産の購入から管理、売却まで投資家一人ひとりに最適な戦略を提案



## robot home事業のビジネスモデル

投資家に向けた資産形成ソリューションの提供によるストック収益、売却～再投資（又は追加購入）を経てプラットフォーム内流通がさらに拡大するという好循環成長サイクル。

### 好循環成長サイクル



### ビジネスインパクト

### 事業KPI

フローKPI	
物件引渡棟数	10棟
物件媒介件数	72件
ストックKPI	
オーナー数	2,355名
管理戸数	28,846戸
入居率	99.2%
(2026年3月末時点)	

## AI時代の投資体験を生み出す3つの競合優位性

robot homeが培ってきた不動産データと資産形成ノウハウを

AIと組み合わせることで新たな投資体験を提供

AI×個人投資家向け  
アセットマネジメント

アセットライトかつ  
高品質な商品開発

ストック型  
プラットフォーム

## AI時代の投資体験を生み出す3つの競合優位性

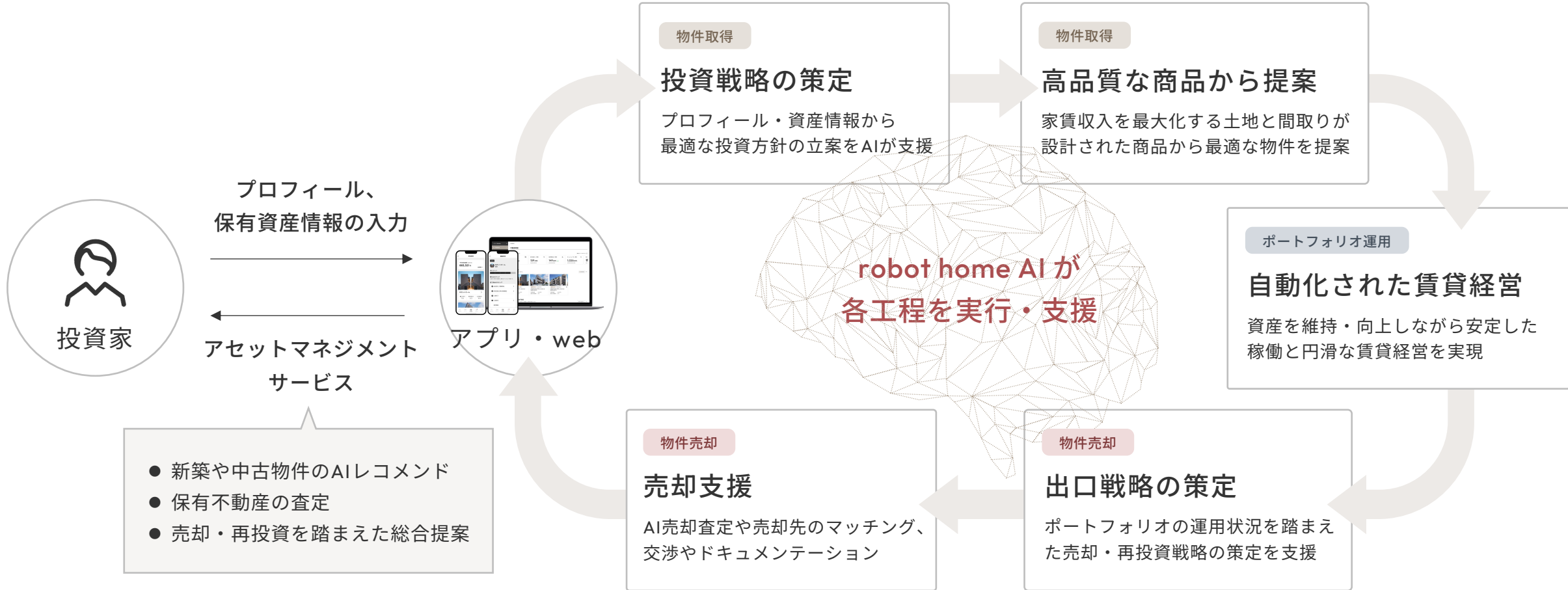
AI×個人投資家向け  
アセットマネジメント

アセットライトかつ  
高品質な商品開発

ストック型  
プラットフォーム

## AI×個人投資家向けアセットマネジメント

# AIを活用することで投資家ごとに最適化されたアセットマネジメントサービスを提供



## 不動産経営による資産形成ソリューションを提供

### 資産を作る

✓ AIを活用した最適な提案

膨大な不動産データとAIの活用で投資家の環境に合わせた投資提案を実現

✓ 資産最大化を実現する複数物件保有シナリオの策定

ポートフォリオの組み替えや買増しなど資産拡大に向けて長期的にサポート

### 資産を守る

✓ 提携税理士による税務相談

不動産経営に強い提携税理士による税務や相続に関する相談会等の実施

✓ 不動産を活用した資産継承のサポート

次の世代への資産継承を見据えて不動産を活用した計画策定・実行を支援

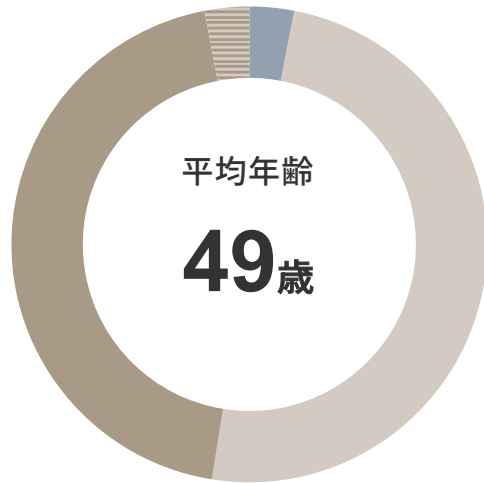
プロフェッショナルとAIの活用で個人の資産形成を攻めと守りの両面からサポート

## プラットフォームの成長を支える強固な顧客基盤

高い資産背景を持つ優良な顧客基盤を形成。金融リスク等の外部環境の影響を抑えた安定的な成長を実現するとともに、オーナーへの多角的な価値提供を通じて、プラットフォームの持続的な発展を目指す。

### 2025年度 新築購入者の顧客情報

年齢分布



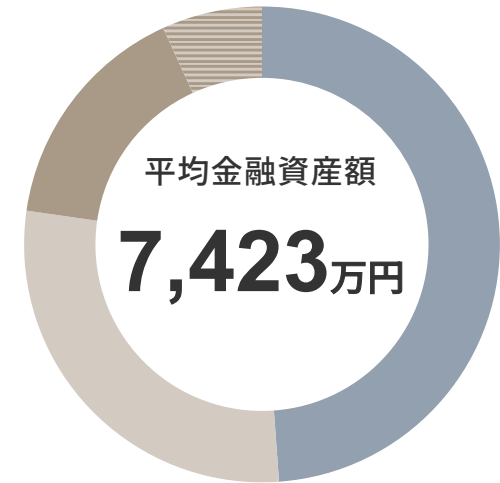
■ 39歳以下: 3.0%    ■ 40~49歳: 49.5%  
■ 50~59歳: 44.4%    ▨ 60歳以上: 3.0%

年収分布



■ 999万円以下: 2.1%    ■ 1,000~1,499万円: 35.1%  
■ 1,500~1,999万円: 33.0%    ▨ 2,000~2,999万円: 13.8%  
▨ 3,000~3,999万円: 8.5%    ■ 4,000万円以上: 7.4%

純金融資産分布



■ 4,999万円以下: 48.9%    ■ 5,000~9,999万円: 28.4%  
■ 10,000~19,999万円: 15.9%    ▨ 20,000万円以上: 6.8%

## 不動産経営はオーナー専用のアプリひとつで完結

STEP 1

会員登録する



各種マーケティング施策とプラットフォームからの流入による会員登録

STEP 2

土地を選ぶ



土地とデザインを選択して収支シミュレーション

STEP 3

建築する



アパート完成までの建築進捗をステップごとに写真で確認

STEP 4

不動産経営する



入居状況の可視化 / 入退去連絡確認 / 修繕の発注管理 / 入金管理

STEP 5

売却 / 再投資する



資産運用コンシェルジュサービス / 売却査定 / 新規物件の購入

## AI時代の投資体験を生み出す3つの競合優位性

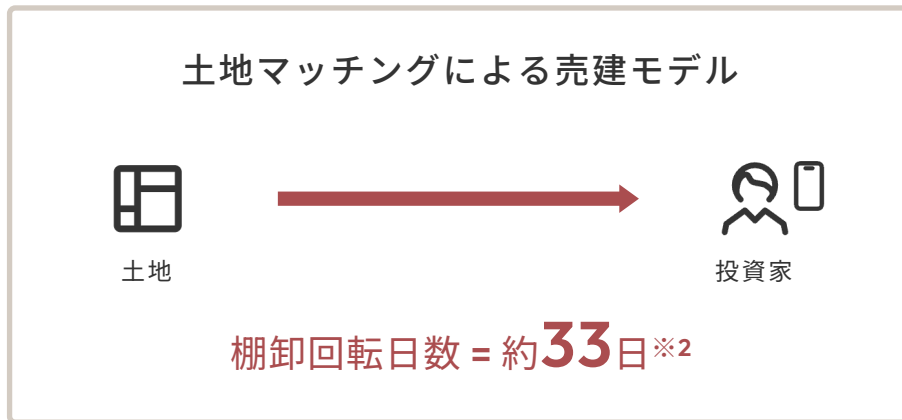
AI×個人投資家向け  
アセットマネジメント

アセットライトかつ  
高品質な商品開発

ストック型  
プラットフォーム

## 資金調達に制限されないアセットライトモデルによる継続的な不動産供給

安定した経営基盤とテクノロジーが可能にするアセットライトな不動産供給モデルと高単価の不動産販売が、持続的な高成長を実現。



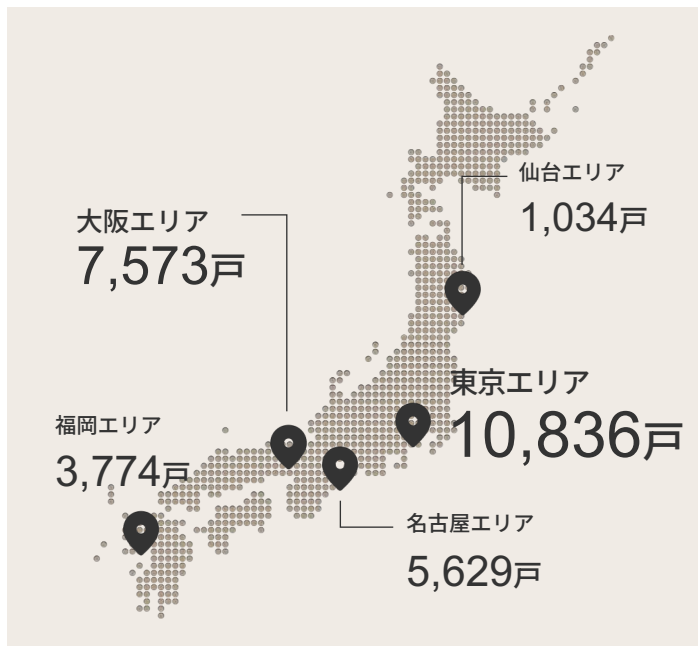
## 持続的な高成長が可能な当社ビジネスの位置付け



※1東証に上場している33業種のうち、2025年不動産業平均値 / ※2 2025年12月期当社実績

## 全国規模で展開、需要の高いエリアを厳選

テクノロジーを活用することで、質の高い賃貸住宅を開発。



### 全国規模の高い管理実績

5大都市を中心に管理戸数28,846戸。  
入居率は99.2%と高水準です。

(2026年3月末時点)



### 厳選した立地での開発

駅徒歩10分圏内のエリアをターゲットに  
利便性と収益性を兼ね備えた立地を厳選  
しています。

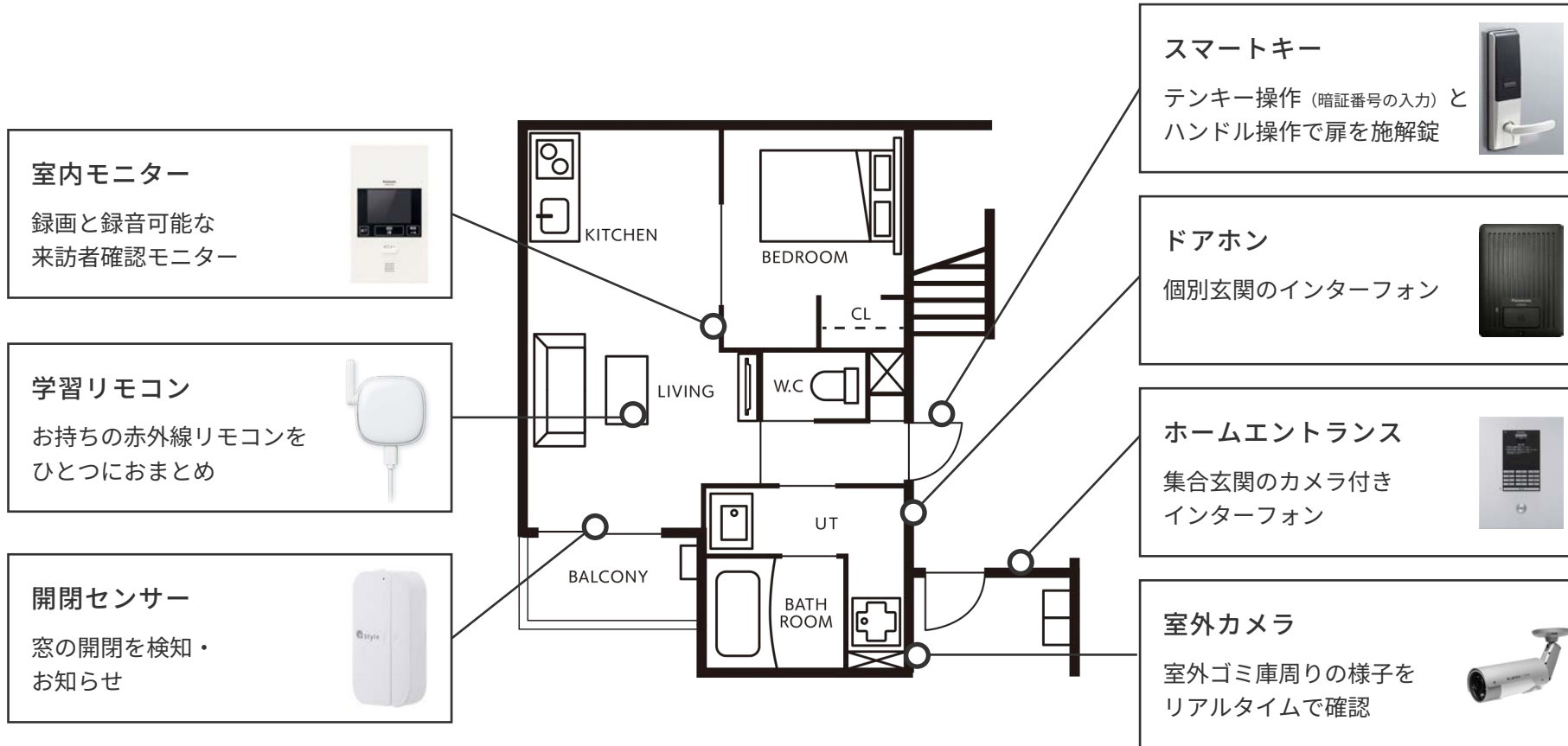


### 劣化対策等級3を取得

通常想定される条件のもと、3世代（約  
75～90年）までは大規模な改修工事が不  
要になるように対策されています。

## IoTで差別化された賃貸住宅

物件には入居者の生活利便性を向上させる様々なIoTデバイスが標準搭載。  
アプリひとつで簡単に操作が可能。



## デザイン性が高く、IoTで差別化された賃貸住宅



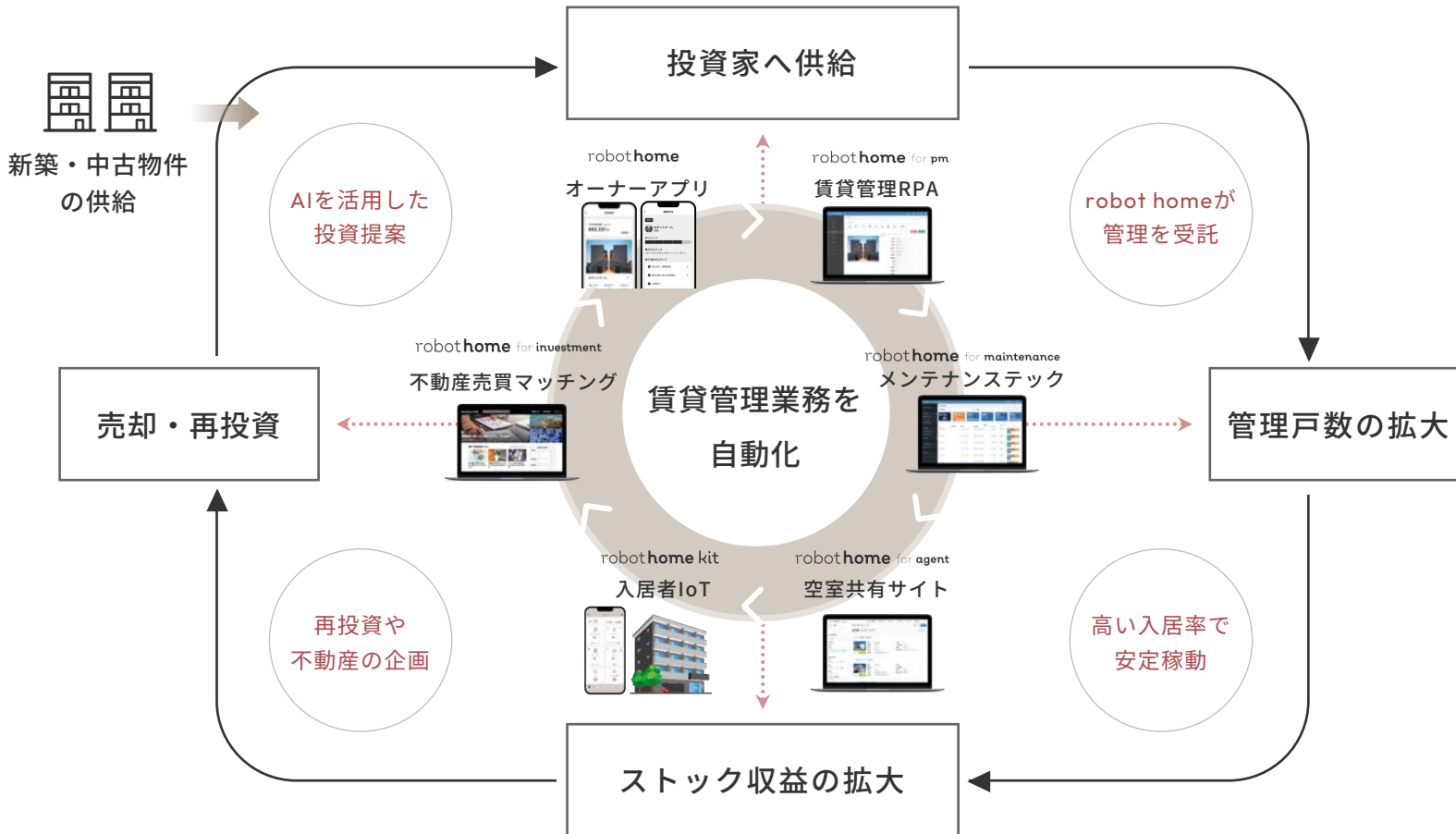
## AI時代の投資体験を生み出す3つの競合優位性

AI×個人投資家向け  
アセットマネジメント

アセットライトかつ  
高品質な商品開発

ストック型  
プラットフォーム

## 物件の供給により安定した収益を創出するストック型プラットフォーム



物件の供給による  
安定した管理戸数の積み上げ  
+  
賃貸管理業務の  
自動化による高い利益率の実現



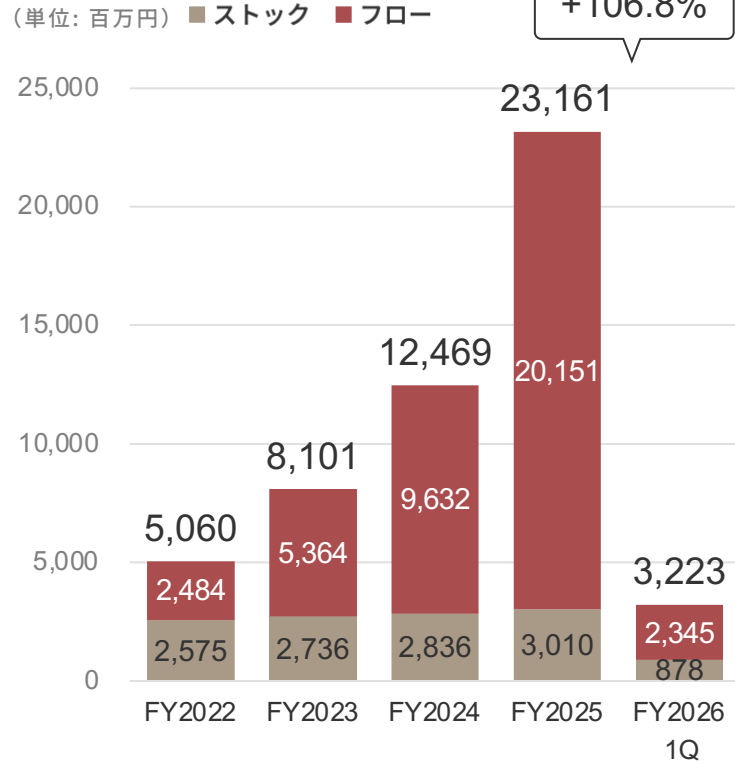
管理戸数  
**28,846 戸**  
(2026年3月末時点)

ストック  
営業利益率  
**55.9 %**

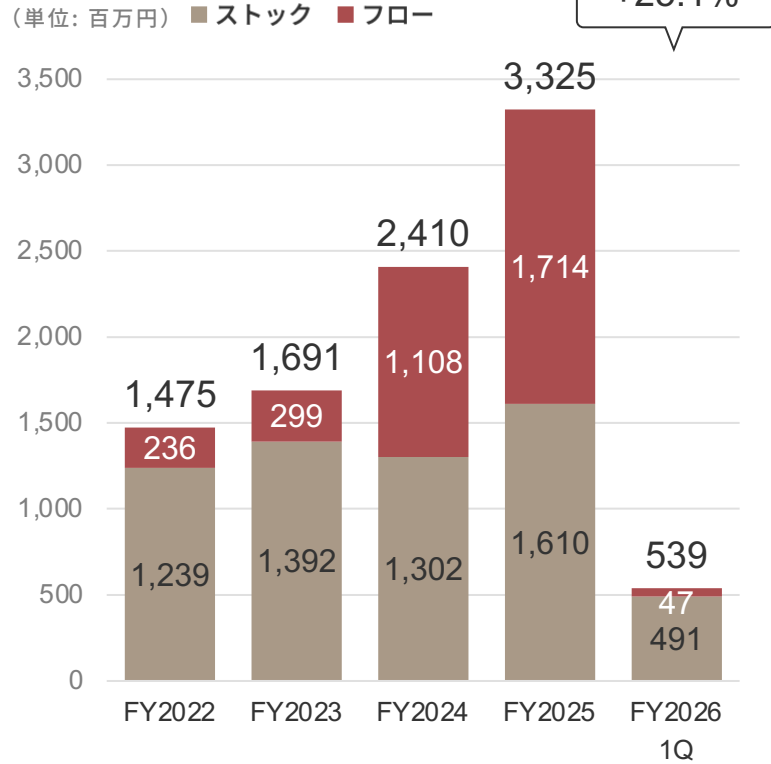
## robot home事業の業績推移

robot homeセグメントFY2026 1Q売上高は3,223百万円（前年同期比+106.8%）。営業利益は539百万円（前年同期比+25.1%）。

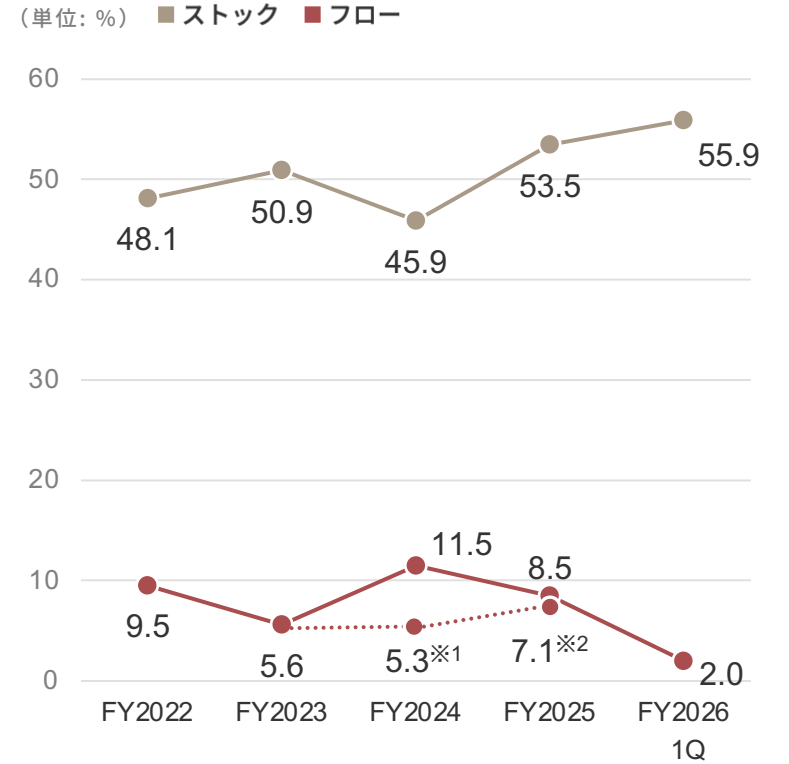
### 売上高



### 営業利益



### 営業利益率



## robot home事業の業績

robot homeセグメントFY2026 1Q売上高は3,223百万円（前年同期比+106.8%）。営業利益は539百万円（前年同期比+25.1%）。

（単位：百万円）

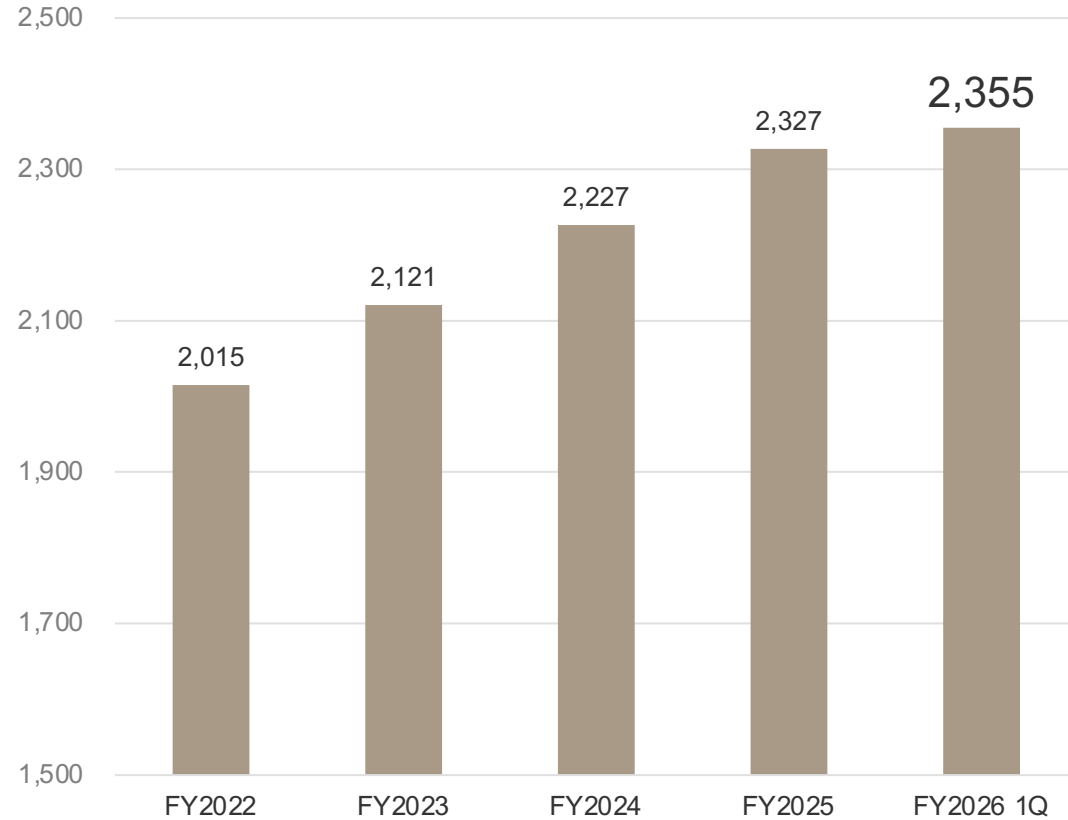
	FY2025 1Q	FY2026 1Q	増減率
売上高	1,558	3,223	106.8%
フロー	748	2,345	213.5%
ストック	810	878	8.4%
売上総利益	847	1,042	23.0%
フロー	162	293	80.4%
ストック	684	748	9.3%
販管費及び一般管理費	416	502	20.8%
フロー	172	245	42.1%
ストック	243	257	5.7%
営業利益	431	539	25.1%
フロー	▲10	47	-
ストック	441	491	11.4%

## robot home事業KPI

オーナー数の堅調な伸びによる、プラットフォーム内流通の活性化。

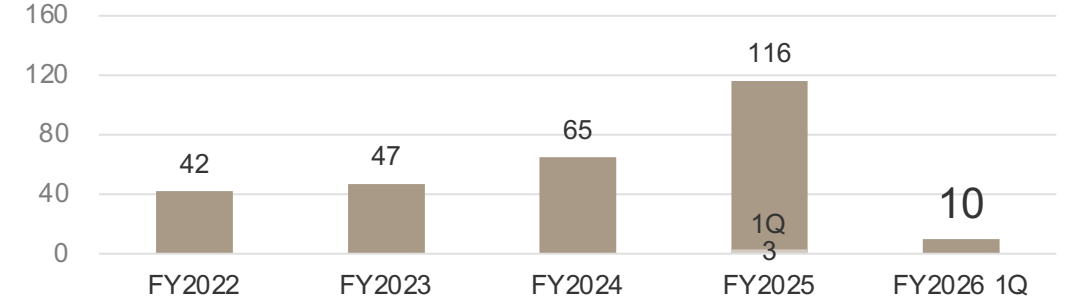
### オーナー数

(単位: 名)



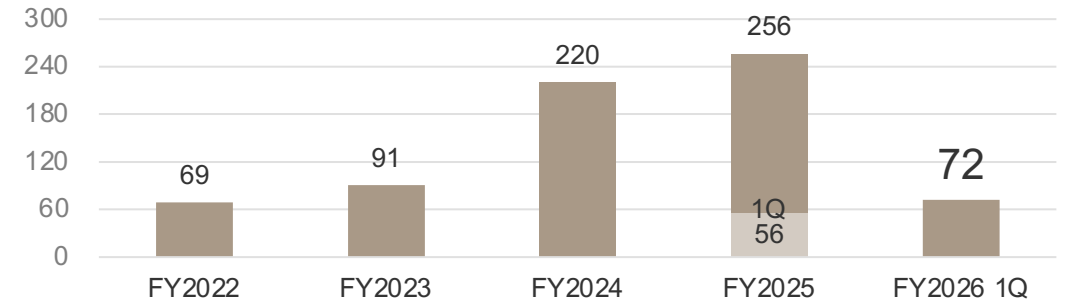
### 物件引渡棟数

(単位: 棟)



### 物件媒介件数

(単位: 件)

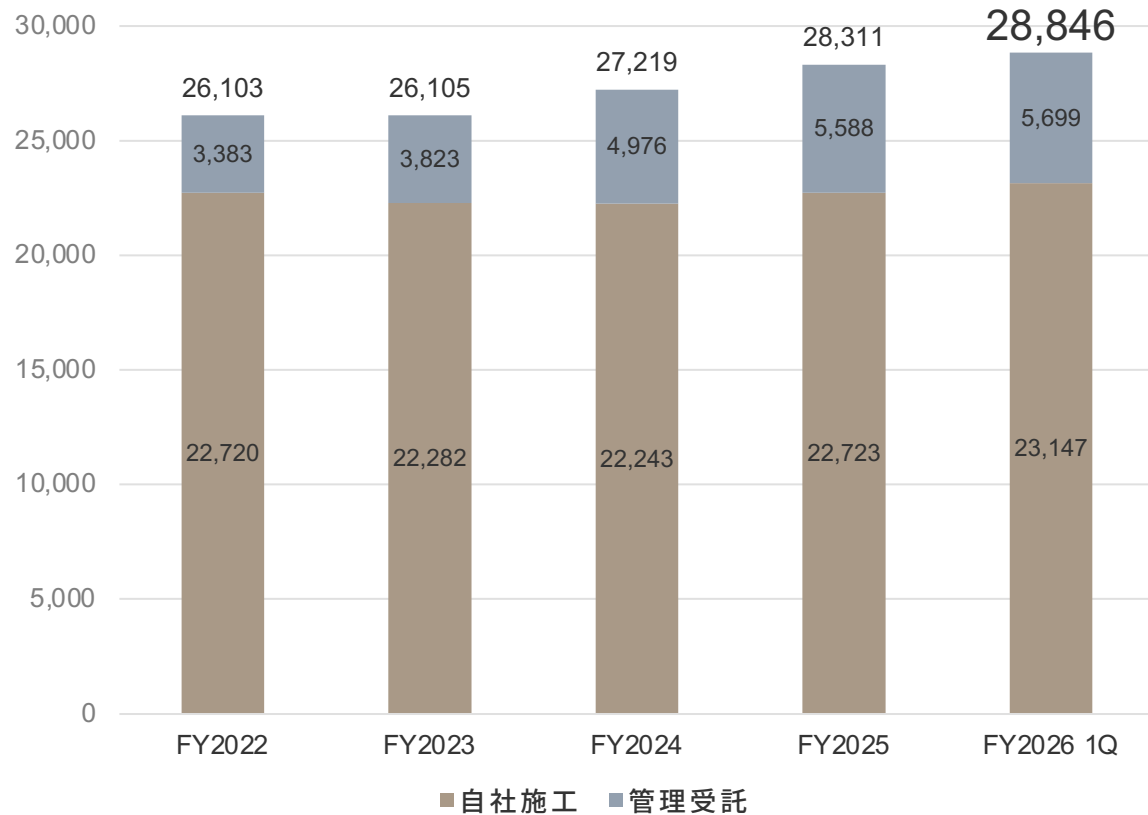


## robot home事業KPI

管理受託物件における入居率が上昇傾向。プラットフォームが効果的に機能し、高い入居率を維持。

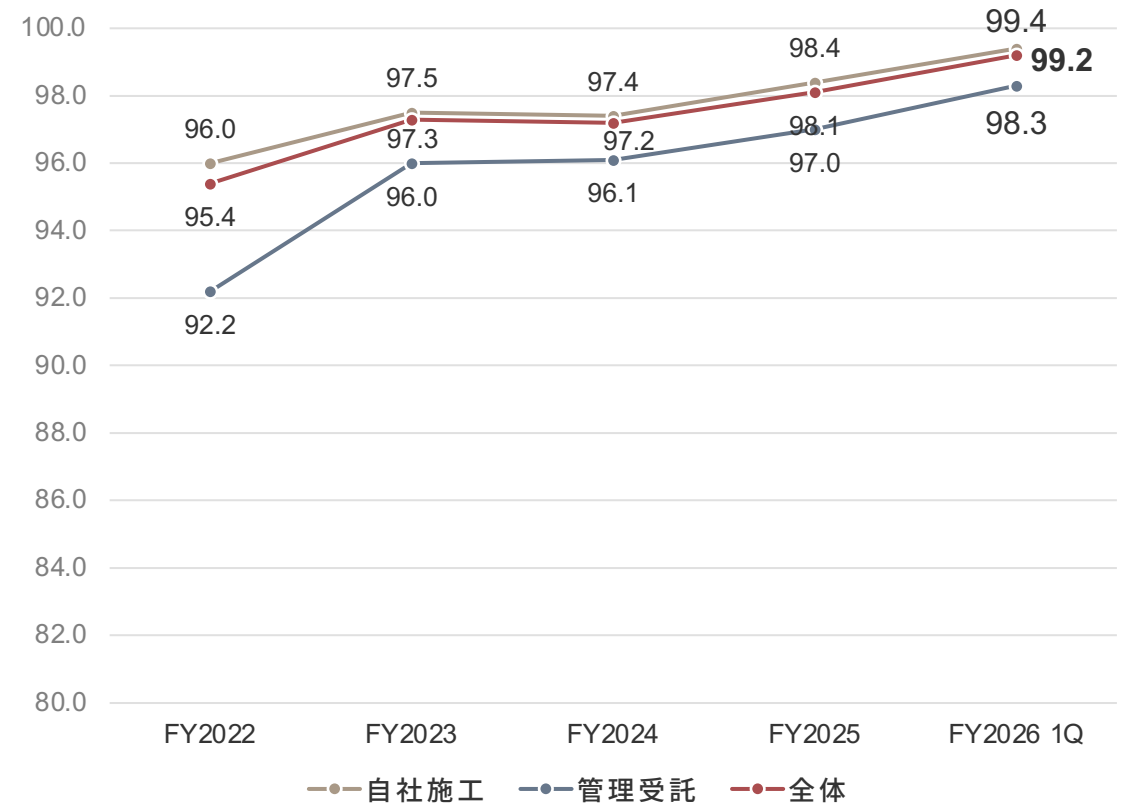
### 管理戸数

(単位: 戸)



### 入居率

(単位: %)



# 3. Appendix

補足資料



## 財務指標推移（会計期間）

(単位: 百万円)	FY2024				FY2025				FY2026			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	2,758	2,000	3,196	5,201	1,633	3,380	5,912	13,141	3,401	-	-	-
AI・IoT事業	128	161	173	251	81	143	282	429	188	-	-	-
robot home事業	2,637	1,846	3,028	4,957	1,558	3,243	5,637	12,721	3,223	-	-	-
フロー	1,899	1,165	2,329	4,238	748	2,483	4,932	11,987	2,345	-	-	-
ストック	738	681	698	718	810	760	704	734	878	-	-	-
売上総利益	1,466	812	993	1,159	907	978	1,200	2,561	1,157	-	-	-
AI・IoT事業	104	108	125	162	63	104	189	276	126	-	-	-
robot home事業	1,366	707	871	996	847	877	1,021	2,295	1,042	-	-	-
販管費及び一般管理費	867	847	851	822	901	910	964	1,104	1,097	-	-	-
営業利益	599	▲34	142	337	5	67	236	1,456	60	-	-	-
AI・IoT事業	54	52	56	98	11	54	143	227	78	-	-	-
robot home事業	967	316	473	652	431	463	577	1,852	539	-	-	-
フロー	613	4	181	309	▲10	35	224	1,464	47	-	-	-
ストック	354	311	292	343	441	427	353	388	491	-	-	-
経常利益	594	▲33	129	328	171	34	162	1,418	51	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	563	▲33	130	251	167	10	149	1,661	37	-	-	-

## 財務指標推移（累計期間）

(単位: 百万円)	FY2024				FY2025				FY2026			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	2,758	4,759	7,956	13,157	1,633	5,014	10,926	24,068	3,401	-	-	-
AI・IoT事業	128	289	463	714	81	224	506	936	188	-	-	-
robot home事業	2,637	4,483	7,511	12,469	1,558	4,802	10,439	23,161	3,223	-	-	-
フロー	1,899	3,064	5,393	9,632	748	3,231	8,164	20,151	2,345	-	-	-
ストック	738	1,419	2,117	2,836	810	1,570	2,275	3,010	878	-	-	-
売上総利益	1,466	2,278	3,272	4,432	907	1,885	3,085	5,646	1,157	-	-	-
AI・IoT事業	104	213	338	500	63	168	357	634	126	-	-	-
robot home事業	1,366	2,074	2,946	3,943	847	1,724	2,746	5,042	1,042	-	-	-
販管費及び一般管理費	867	1,714	2,565	3,388	901	1,811	2,776	3,880	1,097	-	-	-
営業利益	599	564	706	1,043	5	73	309	1,766	60	-	-	-
AI・IoT事業	54	107	164	262	11	66	209	436	78	-	-	-
robot home事業	967	1,284	1,758	2,410	431	894	1,472	3,325	539	-	-	-
フロー	613	618	799	1,108	▲10	25	250	1,714	47	-	-	-
ストック	354	666	958	1,302	441	869	1,222	1,610	491	-	-	-
経常利益	594	560	689	1,018	171	206	368	1,787	51	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	563	530	661	912	167	177	327	1,989	37	-	-	-

## 事業KPI推移

	FY2024				FY2025				FY2026			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
<b>AI・IoT事業</b>												
IoT導入戸数（全体）	11,244	11,311	11,550	11,830	12,022	12,183	12,462	12,861	13,413	-	-	-
自社物件	9,691	9,692	9,849	10,089	10,232	10,356	10,623	10,998	11,469	-	-	-
他社物件	1,553	1,619	1,701	1,741	1,790	1,827	1,839	1,863	1,944	-	-	-
DX総合支援サービス提供社数	43	46	48	51	52	56	59	60	61	-	-	-
<b>robot home事業</b>												
オーナー数	2,148	2,172	2,205	2,227	2,263	2,270	2,280	2,327	2,355	-	-	-
物件引渡棟数（年度累計）	8	17	33	65	3	16	53	116	10	-	-	-
物件媒介件数（年度累計）	36	91	164	220	56	110	180	256	72	-	-	-
管理戸数（全体）	26,319	26,504	26,883	27,219	27,298	27,515	27,627	28,311	28,846	-	-	-
自社施工	22,290	22,172	22,216	22,243	22,239	22,252	22,451	22,723	23,147	-	-	-
管理受託	4,029	4,332	4,667	4,976	5,059	5,263	5,176	5,588	5,699	-	-	-
入居率（全体）	98.0%	97.4%	97.1%	97.2%	98.4%	98.0%	97.8%	98.1%	99.2%	-	-	-
自社施工	98.3%	97.8%	97.4%	97.4%	98.6%	98.3%	98.0%	98.4%	99.4%	-	-	-
管理受託	96.4%	96.0%	95.6%	96.1%	97.4%	96.8%	97.1%	97.0%	98.3%	-	-	-

## 次世代のDX化された賃貸住宅の提供

### CASE 01 | ホームエントランス

## 外出先からでもスマホで来訪者を確認し、鍵の解錠が可能



## 次世代のDX化された賃貸住宅の提供

### CASE 02 | 開閉センサー

## 侵入経路の多くを占める窓の対策→即時アプリ通達によるセキュティの向上

通報など  
即時対応へ

自宅の窓に誰かが侵入



窓を  
開閉  
→

センサーが窓の開閉を検知



アプリに  
通達  
→



### 補足情報

令和6年度共同住宅（3階以下）の侵入窃盗の侵入口は「1位: 表出入口47.6%、2位: 窓38.4%」となっております。

※警視庁発表データより

## 次世代のDX化された賃貸住宅の提供

### CASE 03 | 室外カメラ

## 防犯対策に有効な室外セキュリティカメラ

### ● 犯罪行為の抑止効果

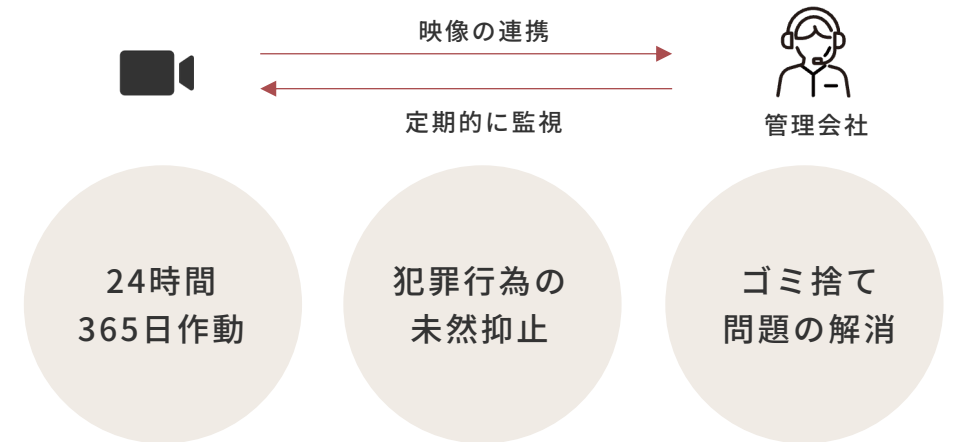
セキュリティカメラがついていることで侵入者が警戒し、犯罪行為を未然に防ぐ効果が期待できます。

### ● 不審者の特定や証拠映像の保存

敷地内で不審者や侵入者を発見しても、記録された映像や画像により、証拠映像として警察に提出ができます。

### ● クレームに発展しやすいゴミ庫の監視

ゴミ出しのルール違反や入居者以外のゴミ投棄など、クレームに発展する前に対応が可能になります。



※セキュリティカメラの有無は開発時期により異なります。

## 次世代のDX化された賃貸住宅の提供

### CASE 04 | 学習リモコン

## 様々な家電をひとつのアプリで操作



### 照明の操作

室内での操作はもちろん、帰宅途中で照明をつけることでお部屋が特定されず、不法侵入防止の抑止力に。



### TVの操作

スマホを見ながらTV操作が可能。チャンネルの切り替えや音量調整だけでなく、番組表の確認も可能。

### アプリで操作可能

ご自宅の赤外線リモコンを  
ひとつにおまとめ



### ロボット掃除機の操作

複数のアプリを立ち上げなくても、赤外線リモコンがついているタイプであればロボット掃除機も操作可能。



### エアコンの操作

アプリで室内の温度や湿度を確認し、帰宅前の操作でお部屋を事前に快適な状態にしておくことが可能。

## 次世代のDX化された賃貸住宅の提供

## CASE 05 | チャット

## 管理会社への問い合わせもストレスフリーに



- 忙しい人でもチャットで  
日中のお仕事などで電話ができない状況でもチャットで管理会社に問い合わせることができます。
- 伝わりやすい画像共有  
画像の送信も可能なので、電話よりも状況の伝達に便利です。
- ペーパーレスのやりとり  
管理会社から入居者様への連絡事項も従来の印刷物ではなく、チャット上でご連絡できます。



## 次世代のDX化された賃貸住宅の提供

### CASE 06 | 入居者向けベネフィット

## ベネフィットで日々の生活をより快適に

入居者向けライフスタイルコンテンツとして、日々の生活をより快適にするサービスの特典付きをご用意しております。

### 暮らしに役立つライフスタイルコンテンツ



#### 医師による医療相談

チャットでいつでも気軽に医療相談を行うことができるサービスです。



#### サマリーポケット

#### 宅配型収納サービス

預けたいモノをボックスに詰めて送るだけ！月額110円~のお手軽収納サービスです。



#### カーシェアリング

使いたい時に、使いたい場所で、カンタンおトクに乗れる。入会キャンペーン実施中！



## 次世代のDX化された賃貸住宅の提供

### 便利だけじゃない、選ばれるDX賃貸住宅へ

当社はDX賃貸住宅による新しい暮らしの体験を提供すると同時に、入居が決まりやすい設備を多く揃えております。セキュリティ性などの普遍的な需要と、テクノロジーを活用した新しいライフスタイルに適合したサービスを提供することで、オーナー様に安心して賃貸経営を行なっていただける物件の開発に努めてまいります。

セキュリティに  
対する普遍的な需要

新しいライフ  
スタイルへの適合

DX賃貸住宅の  
可能性

### 単身者向け物件 人気設備ランキング

順位	設備内容	当社物件仕様
1位 (前回4位)	高速インターネット	○
2位 (前回3位)	エントランスオートロック	○
3位 (前回1位)	インターネット無料	○
4位 (前回2位)	宅配ボックス	○
5位 (前回7位)	独立洗面台	○
6位 (前回5位)	浴室換気乾燥機	○
7位 (前回8位)	ガレージ	△
8位 (前回-位)	24時間利用ごみ置き場	—
9位 (前回-位)	都市ガス	○
10位 (前回-位)	エアコン	○

※全国賃貸住宅新聞（2025年10月）より引用 ※一部未対応の物件もございます

## 経済産業省指針に基づく「DX認定」を取得

情報処理の促進に関する法律第31条の規定により、  
経済産業大臣よりDX認定制度の認定事業者に選定される

- DX認定制度とは (独立行政法人情報処理推進機構:IPA発表資料より)

DX認定制度とは、2020年5月15日に施行された「情報処理の促進に関する法律の一部を改正する法律」に基づく認定制度です。本認定制度では、国が策定した指針(\*1)を踏まえ、優良な取り組みを行う事業者を申請に基づいて認定します。

(\*1)企業経営における戦略的なシステムの利用の在り方を提示したものであり、本指針の策定は、情報処理の促進に関する法律に基づいています。詳しくは独立行政法人情報処理推進機構：IPAのサイトをご確認ください。

<https://www.ipa.go.jp/ikc/info/dxcp.html>



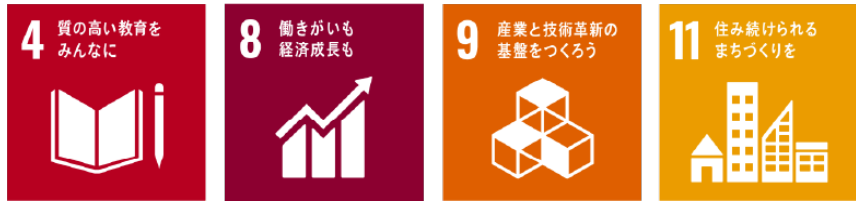
robot home

本制度の認定事業者一覧

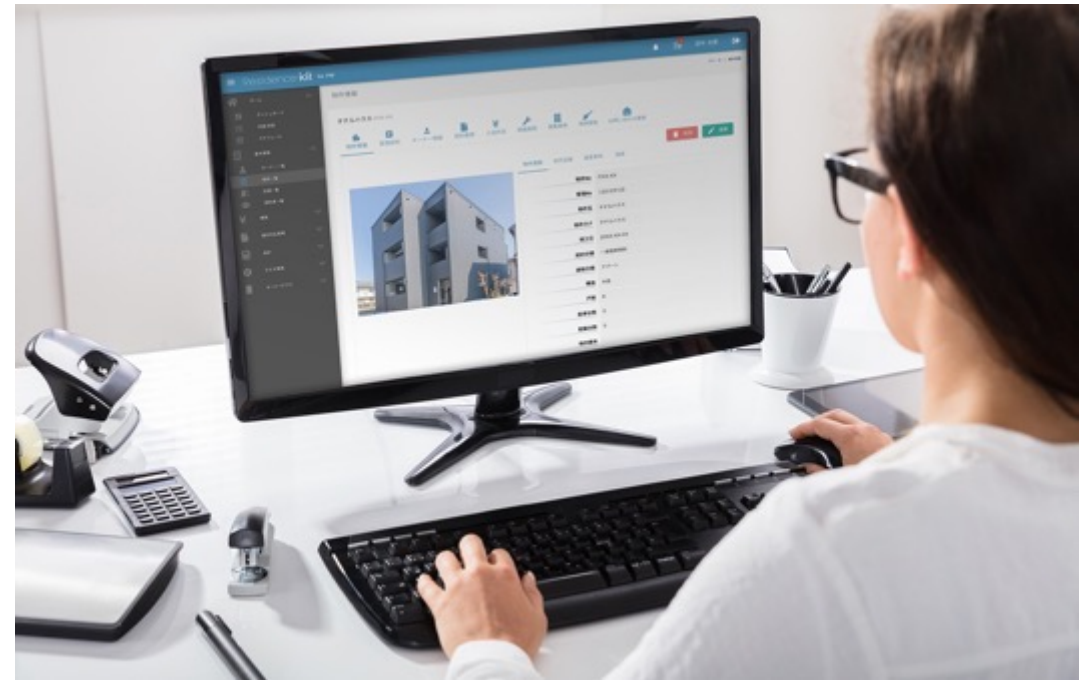
<https://www.ipa.go.jp/ikc/info/dxcp-list-202103.html>

## 当社が取り組むSDGsについて

### RPA×人財活用による賃貸管理サービスで、 住みよい街づくりに貢献

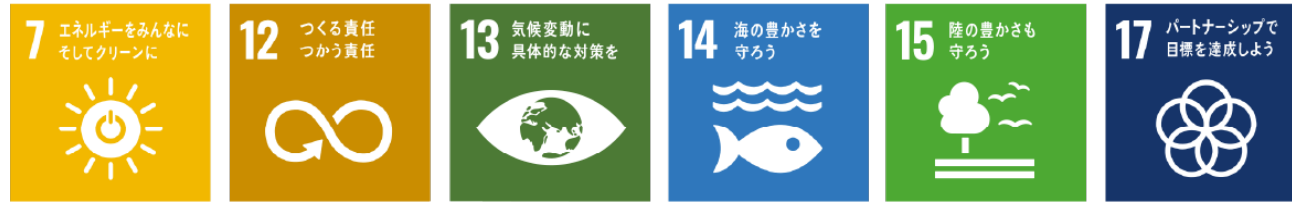


RPAを活用した業務効率化を推進し、より質の高いサービスを提供することで住みよい街づくりに貢献。賃貸管理ビジネスの領域をさらに拡大し、賃貸管理におけるトータルサポート体制を整えることにより、より細やかなご要望に対応すべく、入居者ファーストな体制を構築。



## 当社が取り組むSDGsについて

### 省エネルギー性能評価の取得やNearly ZEH-Mなど 環境に優しい不動産開発



国土交通省が定めた評価基準に基づいた第三者機関の建築物省エネルギー性能評価制度（Building-Housing Energy-efficiency Labeling System「BELS」）において、高い基準をクリアした物件の開発やNearly ZEH-Mの開発など、環境に配慮した不動産開発も行なっています。

BELSとは、2016年4月に施行された建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）において不動産事業者等に表示するよう努めることが求められている建築物について、5段階評価（再エネ設備の無い場合）で省エネルギー性能を評価し認証する公的制度の一つです。

環境負荷の少ない住宅づくり

# Nearly ZEH-M

住宅(住棟) 再エネ設備あり

建築物省エネ法に基づく  
省エネ性能ラベル

エネルギー消費性能	★★★★★	太陽光発電(自家消費)
断熱性能	1 2 3 4 5 6 7	

**ZEH水準**  
 エネルギー消費性能で★3つ(太陽光発電は考慮しない)、かつ断熱性能で6を達成

**ネット・ゼロ・エネルギー**   
 Nearly ZEH-Mの要件は評価書をご覧ください。

第三者評価 BELS 東京都お花芝屋1丁目B号棟共同住宅 評価日 2025年3月1日

## 当社が取り組むSDGsについて

### 多様性・創造性を尊重した ダイバーシティ経営の推進



女性社員比率47.0%、女性育休取得率100%、有給休暇消化率84.3%と、高い水準を維持（2025年12月末時点）。デュアルキャリア社員やグローバル人材も活躍しており、従業員の多様性・創造性を尊重し、個人のライフプランに寄り添い安心して働くことができる職場づくりを推進。



## 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内、及び国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。